税関様式Ｃ第1110号

担　保　解　除　申　請　書

令和　◆　年　4　月　25　日　①

全国の税関官署の長　殿　②

申請者
住所　東京都中央区銀座▼−▼▼−▼▼
TEL　◇◇−◇◇◇◇−◇◇◇◇
氏名（又は名称）及び代表者の氏名　③
株式会社財務商会
代表取締役　大蔵　太郎

代理人
住所　東京都江東区青海▽−▽−▽▽
TEL　●●−●●●●−●●●●
氏名（又は名称）及び代表者の氏名　④
株式会社カスタムス通関
代表取締役　税関　次郎

令和　3　年　12　月　20　日に関税等の　関税等の包括納期限延長　ために提供した下記の担保　⑤
について、担保の提供原因が消滅したので、担保解除を申請します。

記

担保受理年月日	令和 3 年 12 月 20 日
担保預り証番号	第 1AP×××××× 号
担保の種類及び表示	保証人の保証　財務東京銀行　本関支店
担保金額	1,000,000,000 円

⑥

※

担　保　解　除　通　知　書　⑦

上記の担保を解除したので通知します。
第　　号
令和　　年　　月　　日

印

（注）１．この申請書は２部提出して下さい。
２．一括担保を提供している場合の宛先は、すべての対象税関官署の長名を連名又は包括して記載して下さい。
３．申請の際には、先に交付した担保預り証（担保登録票を含む）を添付して下さい。　＊
４．※欄は記入しないで下さい。

◇　担保解除申請書の記載例

提出部数　➡　2部（税関用、交付用）

記載の説明（書き方）

①日付：税関への提出日

②あて先：先の担保提供書のあて先を記載
（記載例は、全国一括）

③申請者：担保提供者（輸入者）

④代理人：通関業者等が代理で書類を提出する場合に記載

⑤担保提供日等：担保を提供した日及び
担保事由を記載「関税等の包括納期限延長」など、

⑥担保の内容：提供中の担保の内容を記載
預り証番号は、担保登録番号と同じ

＊重）担保解除と同時に提供中の担保物の返還を受けるには、担保預り証の添付が必須
担保の積み増しを行っている場合には、担保登録票の全てが必要

⑦通知書：ここより以下は、申請書受理後税関で記載